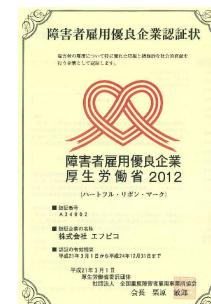


2014年3月期 中間決算説明会

株式会社 エフピコ
2013年11月7日





2007年4月
第一回「平成18年度容器包装3R推進 環境大臣賞」
製品部門 最優秀賞を受賞

http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_approach/



2009年3月
㈱全国重度障害者雇用事業所協会より
障がい者雇用優良企業認定を取得
(ハートフル・リボン・マーク)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaisha/dl/110420-1.pdf>



2011年2月
㈱日本環境協会より
第一回「エコマークアワード2010」金賞を受賞

http://www.ecomark.jp/award/award_2010.html



2011年4月
環境大臣に対し環境先進企業として「エコ・ファーストの約束」を行い
「エコ・ファースト企業」として認定

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/index.html>

本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

=目次=

◆ <u>実績 及び 通期計画</u>	経理財務本部長	池上 功	5
◆ <u>中・長期目標 へ 向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	13
◆ <u>企業規模拡大 へ 向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	21
◆ 添付資料			33

実績及び通期計画

経理財務本部長
池上 功

決算概要 (2014年3月期 実績と計画)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績							第2四半期累計 計画			通期 計画		
	'13/3月期		'14/3月期					'14/3月期			'14/3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	達成率	計画	構成比	進捗率
トレー	13,794	17.4	13,807	17.1	+12	100.1%	99.7%	14,260	16.9	96.8%	28,710	16.8	48.1%
弁当・惣菜	40,109	50.7	42,237	52.5	+2,128	105.3%	107.5%	44,480	52.6	95.0%	90,250	52.9	46.8%
小計	53,903	68.2	56,044	69.6	+2,141	104.0%	104.6%	58,740	69.4	95.4%	118,960	69.8	47.1%
その他製品	3,326	4.2	3,179	3.9	△147	95.8%		3,380	4.0	94.1%	6,980	4.1	45.5%
製品売上高	57,230	72.4	59,224	73.6	+1,993	103.5%		62,120	73.4	95.3%	125,940	73.9	47.0%
包装資材	17,454	22.1	16,851	20.9	△602	96.5%		18,070	21.4	93.3%	35,590	20.9	47.3%
その他商品	4,403	5.6	4,438	5.5	+35	100.8%		4,410	5.2	100.7%	8,970	5.3	49.5%
商品売上高	21,857	27.6	21,290	26.4	△566	97.4%		22,480	26.6	94.7%	44,560	26.1	47.8%
売上高	79,087	100.0	80,514	100.0	+1,426	101.8%		84,600	100.0	95.2%	170,500	100.0	47.2%
営業利益	7,413	9.4	4,930	6.1	△2,482	66.5%		6,010	7.1	82.0%	15,520	9.1	31.8%
経常利益	7,528	9.5	5,112	6.4	△2,415	67.9%		6,120	7.2	83.5%	15,600	9.1	32.8%
四半期(当期)純利益	4,393	5.6	3,108	3.9	△1,284	70.8%		3,550	4.2	87.6%	9,120	5.3	34.1%

■ 販売

製品 価格競争を背景に、不採算取引から撤退したトレー容器が前年並みとなった一方、新機能・新デザイン容器などを始めとする弁当・惣菜容器がカバー

出荷枚数: 前年同期比104.6%の伸長

トレー容器 : 再生原料を使用した「エコAPETシリーズ」を拡販

弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡のマルチFP、その端材を活用したマルチソリッド、新しい機能を持つ軽量化製品の寿司・刺身容器が好調

商品 包装資材の取扱量が拡大、ピッキングセンター投資の効果が顕在化し始めるも、グループ会社で不採算商品の見直しを行う

◇ 生産

生産性および品質の向上とともに、生産拠点の最適化を進める
関東八千代工場においてPET2軸延伸製品の生産が本格化

◇ 物流

需要に即した供給体制の構築、物流品質およびサービスレベルの向上、
流通コストの削減を推進、物流ネットワークの拡充と整備を継続

◇ 環境

回収量を拡大し地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
再生原料メーカーとして原材料価格高騰へ対応

経常利益増減 (2014年3月期 上期計画と実績)

上期計画
単位: 億円

2013年 3月期 151.2億

上期 75.3億



+5億

製品値上げ時期の遅れ $\Delta 6$

汎用製品 価格競争 $\Delta 3$

新拠点立上追加コスト $\Delta 1$

上期 経常利益 計画比 $\Delta 10$



上期計画 61億

前期比 -14億 81%

上期実績 51億

前期比 -24億 67.7%

経常利益増減 (2014年3月期 見通し)

上期計画 下期計画 単位: 億円



販売計画
 売上高 1,705億 107.8%

製品値上げ交渉は終了し次なるステージへ
 原材料価格 前期第3四半期末より急騰
 -23(-28)
 原価に基づき 製品価格是正
 ・クロネス効果
 ・エコトレー、エコAPET拡販

新素材への移行
新素材、新製品 拡販 +α
 徹底した新製品提案
汎用製品 シェア競争

物流ネットワーク整備
 鶏卵パック業界への取組み
戦略投資

- 九州物流拠点 7月稼働
- 関西物流拠点 10月稼働
- 福山クロストックセンター 着工
- 八王子に物流拠点展開 用地取得、着工
- 福山 開発棟
- OPET押出2号機 導入

貸借対照表 (2014年3月期 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間			
	'13/3月期 '13/3/31	'13/9/30	増減	'14/3月期 前年比	主な増減内訳
流動資産	73,843	76,544	+2,700	103.7%	現金及び預金 +3,801 受取手形及び売掛金 △2,225 商品及び製品 +641
固定資産	98,416	106,607	+8,191	108.3%	有形固定資産 +8,341
資産合計	172,260	183,152	+10,891	106.3%	
流動負債	64,499	64,155	△344	99.5%	買掛金 △1,076 短期借入金 △3,809 未払金 +4,099
固定負債	31,078	40,425	+9,346	130.1%	長期借入金 +6,841 リース債務 +2,372
負債合計	95,578	104,580	+9,002	109.4%	
純資産合計	76,682	78,571	+1,889	102.5%	利益剰余金 +1,763
負債純資産合計	172,260	183,152	+10,891	106.3%	

- ◇ 資産 配送拠点(関西、九州)の拡充、八王子の土地取得などの戦略投資により増加、将来の収益獲得に向け布石
- ◇ 負債 戦略投資の原資として長期借入金が増加、日銀新貸出制度の利用等により資金調達コストの圧縮を図る
- ◇ 純資産 経営体質の充実強化、および、事業拡大に向けての機動的な対応への備えとして内部留保の充実へ

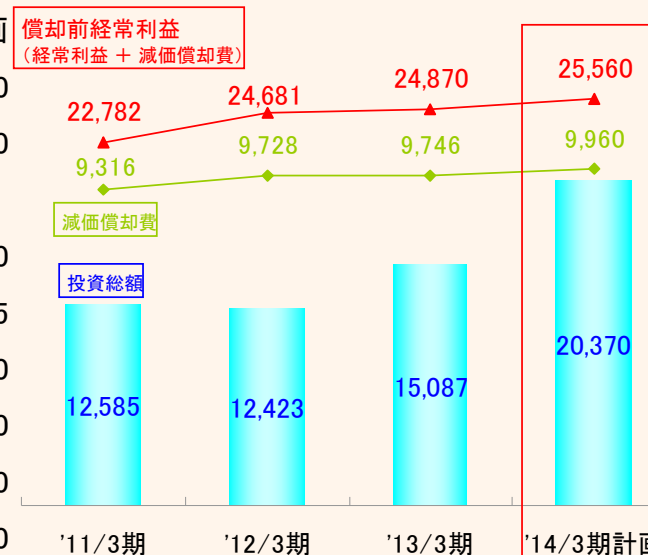
設備投資・研究開発費 (2014年3月期 実績と計画)

	第2四半期累計 実績				上期 計画		通期 計画	
	'13/3月期 実績	'14/3月期			'14/3月期		'14/3月期	
単位: 百万円	実績	実績	増減	前年比	計画	進捗率	計画	進捗率
有形固定資産	10,543	12,984	+2,440	123.1%	13,090	99.2%	20,015	64.9%
うち土地	(1,176)	(4,140)	(+2,963)	(351.9%)	(4,290)	(96.5%)	(4,440)	(93.3%)
無形固定資産	159	188	+28	118.1%	155	121.8%	355	53.2%
設備投資	10,703	13,172	+2,469	123.1%	13,245	99.5%	20,370	64.7%
土地を除く設備投資	(9,526)	(9,032)	(△494)	(94.8%)	(8,955)	(100.9%)	(15,930)	(56.7%)
設備費用	4,876	4,747	△129	97.3%	4,910	96.7%	10,330	46.0%
うち減価償却費	(4,689)	(4,594)	(△94)	(98.0%)	(4,720)	(97.3%)	(9,960)	(46.1%)
研究開発費	529	576	+47	109.0%	540	106.8%	1,090	52.9%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

	単位: 百万円	投資総額	上期実績	下期計画	通期計画
◆ 透明容器設備の増設			585	575	1,160
◆ 関東第一工場リニューアル			717	183	900
◆ 物流施設の整備					
九州物流拠点	2013年7月 稼働	1,764	1,450		1,450
関西物流拠点	2013年10月 稼働	4,615	3,113	122	3,235
八王子物流拠点	2014年10月 稼働予定	11,530	4,142	798	4,940
福山物流拠点	2014年11月 稼働予定	4,250	365	1,195	1,560
◆ 金型			778	1,032	1,810
◆ IT投資			172	348	520



キャッシュ・フロー（2014年3月期 実績）

単位: 百万円	第2四半期累計 実績		
	'13/3月期 実績	実績	'14/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	6,609	7,685	税金等調整前当期純利益 5,112 減価償却費 4,594 仕入債務の減少 Δ 1,224 売上債権の減少 2,138 たな卸資産の増加 Δ 339 法人税等の支払 Δ 2,554
投資活動によるC/F	Δ 9,892	Δ 3,958	有形固定資産の取得 Δ 4,093
フリーキャッシュフロー	Δ 3,283	3,726	
財務活動によるC/F	2,609	74	借入金等の純増加額 3,032 配当金の支払額 Δ 1,345 リース債務の返済 Δ 1,611
現金及び現金同等物の増減額	Δ 672	3,801	
現金及び現金同等物の期末残高	13,236	17,861	

利益を背景に営業CFは堅調に推移、九州配送拠点、関西配送拠点、八王子センター用地取得を始めとする戦略投資を実施するもののフリーキャッシュフローはプラス

決算概要 (2014年3月期 期初計画) 2013年5月10日説明会

＝ご参考＝

単位: 百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	'13/3月期 実績		'14/3月期 計画		'14/3月期 計画		'14/3月期 計画			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	27,579	17.4	28,710	16.8	+1,130	104.1%	14,260	16.9	+465	103.4%
弁当・惣菜	80,660	51.0	90,250	52.9	+9,589	111.9%	44,480	52.6	+4,370	110.9%
小計	108,239	68.4	118,960	69.8	+10,720	109.9%	58,740	69.4	+4,836	109.0%
その他製品	6,845	4.3	6,980	4.1	+134	102.0%	3,380	4.0	+53	101.6%
製品売上高	115,085	72.8	125,940	73.9	+10,854	109.4%	62,120	73.4	+4,889	108.5%
包装資材	34,145	21.6	35,590	20.9	+1,444	104.2%	18,070	21.4	+615	103.5%
その他商品	8,960	5.7	8,970	5.3	+9	100.1%	4,410	5.2	+6	100.2%
商品売上高	43,106	27.2	44,560	26.1	+1,453	103.4%	22,480	26.6	+622	102.8%
売上高	158,192	100.0	170,500	100.0	+12,307	107.8%	84,600	100.0	+5,512	107.0%
営業利益	14,564	9.2	15,520	9.1	+955	106.6%	6,010	7.1	△1,403	81.1%
経常利益	15,122	9.6	15,600	9.1	+477	103.2%	6,120	7.2	△1,408	81.3%
四半期(当期)純利益	8,846	5.6	9,120	5.3	+273	103.1%	3,550	4.2	△843	80.8%

■ 販売

製品＞ 原材料価格の上昇に対しては、原価に基づき製品価格の是正

出荷枚数 : 前期比104.8%伸長
 トレー容器 : 再生材料を使用した「エコトレー」・「エコAPET」を拡販
 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
 軽量化製品の寿司・刺身容器の販売増を見込む
 OPS透明蓋はPET2軸延伸透明蓋へ切り替え

商品＞ グループの物流ネットワークを最大限に生かし、包装資材の取扱量を拡大

◇ 生産

生産性および品質の向上とともに、生産拠点の最適化を進める
 関東八千代工場においてPET2軸延伸製品の生産を本格化

◇ 物流

九州、関西の新拠点を稼働、衛生的で高品質な物流サービスを
 全国レベルで提供、引き続き物流ネットワークの整備を推進

◇ 環境

回収量を拡大し地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
 再生原料メーカーとして原材料価格高騰へ対応

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

決算のポイントと今後の見通し

》 オンリーワン製品の拡販

> 世界初の素材・機能

- ◇ マルチFP(MFP)、マルチソリッド(MSD)
- ◇ OPET(PET二軸延伸) 透明容器
- ◇ 新透明PP容器

> 持続的な新製品投入

- ◇ 「エフピコフェア2013」効果
- ◇ 新デザイン容器

> 再生レジンメーカーへ

- ◇ 「エコトレ」
- ◇ 「エコAPET」

》 戦略投資

- ☆ '13.7 九州物流拠点 稼働
- ☆ '13.10 関西物流拠点 稼働
- ☆ 八王子 物流拠点 用地取得 着工 '14.10 配送C、'15.2 ピッキングC 稼働予定
- ☆ 福山クロスドックセンター 着工 '14.7 倉庫、'14.11 ソーター稼働予定
- ☆ 研究棟 建設

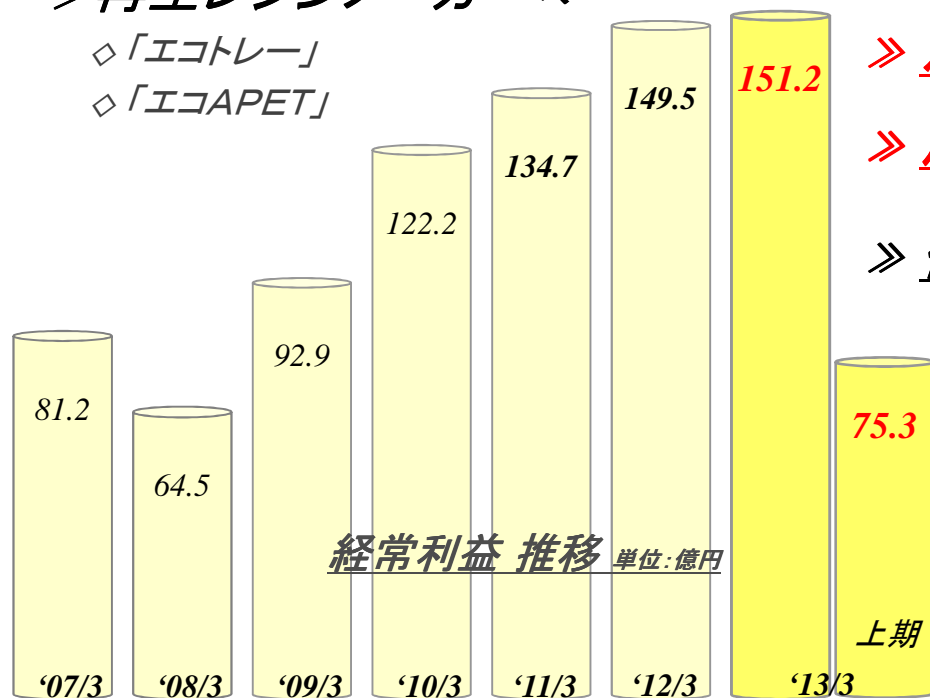
》 地上資源循環への取組み

- ◇ クロネス量産効果
- ◇ 障がい者雇用

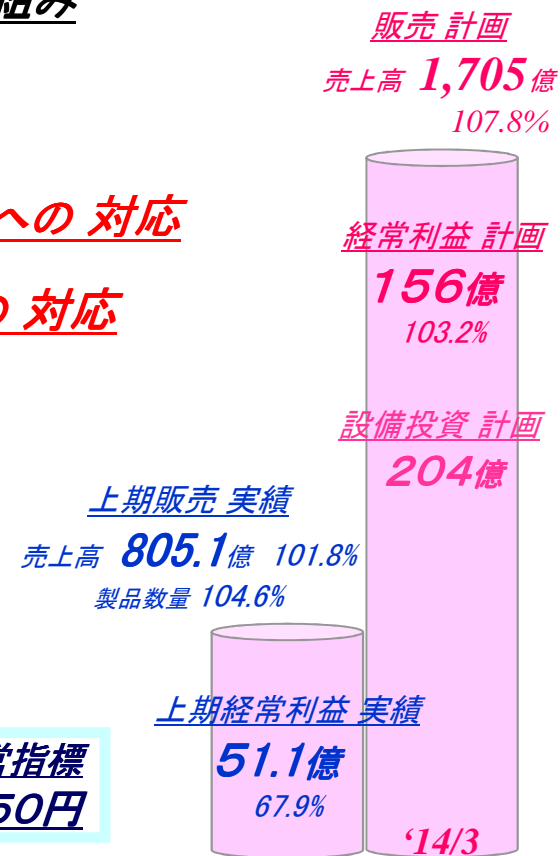
》 汎用製品 価格競争への対応

》 原材料価格 急騰への対応

》 徹底した社内改善



目標とする中期経営指標
1株当たり純利益 **450円**



製品価格 是正 原材料価格高騰への対応

☆ 新製品への切替 MFP、MSD、エコ、OPET、透明PP

☆ 製品値上げ

汎用製品は
バージンからエコへ

透明製品は
OPSからPET・PPへ

原材料価格上昇分のみ転嫁
のり代の無い値上幅

		'13年5月20日 発表 6/21出荷分より		3%	6%	9%
PS ポリスチレン	発泡	エコ	●			
		マルチFP・カラー		●		
		他 PSP製品			●	
	非発泡	マルチソリッド・HIB	●			
HIPS製品				●		
	OPS				●	
PET	ポリエチレンテレフタレート	エコ	●			
		他 PET製品			●	
PP ポリプロピレン	発泡	ニューHS	●			
	非発泡				●	
折箱タイプ		パールウッド	●			

各社 値上げ発表>	会社	出荷日	PS系	他
	B社	7/1 出荷	9%	他 6%
	C社	7/22 出荷	9%	他 6%
	D社	6/21 出荷	9%	他 6%
	E社	7/11 出荷	10%	他 8%

遅れはあるが、原料値上がりは確保

販売拡大に向けて品揃えを加速

マルチFP+マルチソリッド 今期 100億円超 見込む

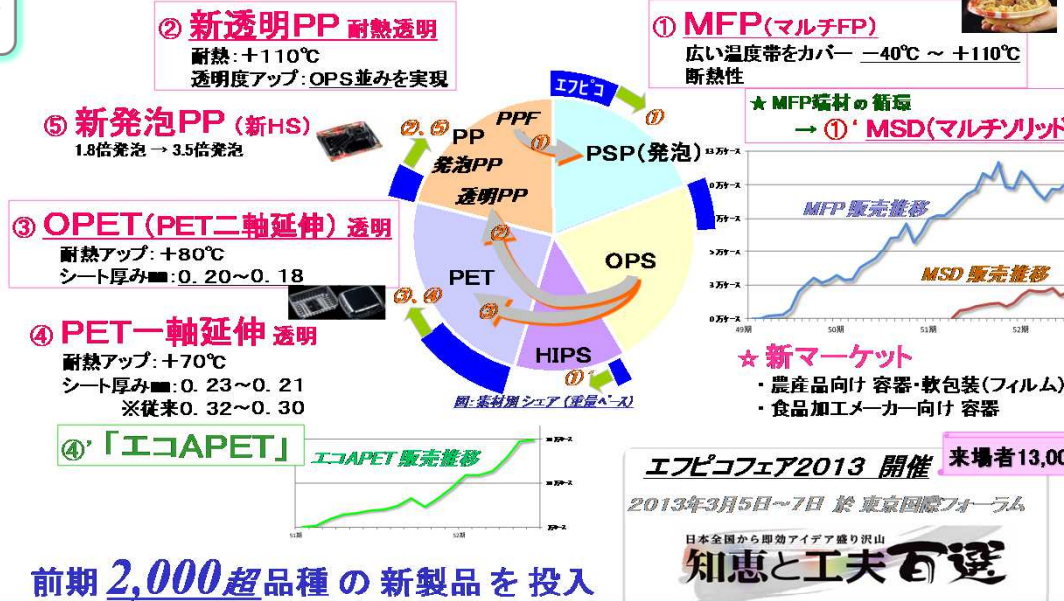
新透明PP

- 標準レジンより OPS同等の透明性を実現
- 耐油性に優れる
- 耐熱+110℃

押出量増へライン改造

製品 5千億円マーケットでのシェア拡大

5つの新シート+αでシェア拡大



マルチFP(MFP)

- 発泡ポリスチレン
- 40℃~+110℃をカバー
- 耐油性に優れる
- 断熱性が高い

マルチソリッド(MSD)

- 非発泡ポリスチレン
- マルチFPの端材を活用
- 40℃~+110℃をカバー
- 耐油性に優れる

OPET(二軸延伸PET)

- 耐熱+80℃(OPS同等)
- 耐油性に優れる
- 透明性が高い
- 軽量化が可能

OPET押出1+2号機稼働で 年間80億円超のOPET製品生産規模へ

エコAPET

- 回収透明容器+回収ペットボトル
- プラントフル生産によりコスト競争力

クロネス1+2号機稼働で 2万4千トンのPETリサイクル原料確保

流通コスト低減と物流インフラ整備

福山クロストックセンター '14/7 倉庫、'14/11 ソーター稼働予定



八王子センター '14/10 配送C、'15/2 ピッキングC稼働予定



物流 2兆円マーケットへの挑戦

全国をフルカバーする物流ネットワーク整備



'13/7:九州物流拠点 拡充



'13/10:関西物流拠点 拡充

'14年度には
★配送センター 8拠点: 14万64百坪
★ピッキングセンター 12拠点: 4万14百坪
計 18万78百坪 東京ドーム13個分超の規模

2ppmの配送クオリティ

物流拠点規模 '12年→'14年
配送センター: **118%**
ピッキングセンター: **130%**

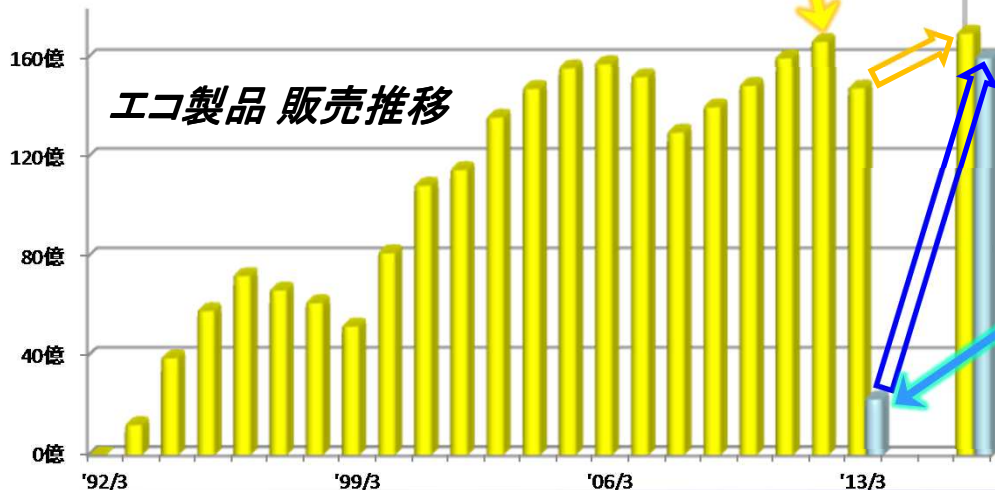
再生レジンメーカーへ

エコ製品

- > オンリーワン製品
- > 原材料価格での優位性
- > 障がい者の参画 (2013.9末 364名+33名)

「環境立国・日本」

エコトレー(PSP) 1992年3月 上市
 ・前期148億円、上期84億円を販売



リサイクル

環境と障がい者雇用が一体化した事業

‘13年3月期
 8,400 拠点から 使用済みトレー 8,237トンを回収
 PETボトル 3,081トンを回収

地上資源の循環 171 箇所のエコAPETを販売

障がい者雇用数: 641 (雇用実人数369名) (‘13年3月末)
 ・特例子会社
 ・就労継続支援A型事業所 雇用率 16.1% (‘13年3月末)

「エコAPET」上市 (‘12/5)

「トレー toトレー」+「ボトル toトレー」

回収量の拡大と回収率アップ

クロネス1+2号機稼働で 2万2千トンの再生能力 生産コスト100~110円/トン

エコAPET 2012年5月 上市
 ・前期23億円、上期42億円を販売
 ・クロネス1+2号機で2万4千トンの再生原料確保

設備投資

☆ 物流

- ・九州物流拠点 拡充 '13年7月稼働
- ・関西物流拠点 拡充 '13年10月稼働
- ・八王子物流拠点 新設 '14年10月配送C、'15年2月ピッキングC稼働予定
- ・福山クロスドックセンター '14年7月倉庫、11月ソーター稼働予定



地上3階建
延床面積 5,700坪
投資額 18億円



地上5階建
延床面積 11,800坪
投資額 46億円

☆ 生産

- ・関東第一工場 リニューアル '13年6月稼働
- ・生産設備

OPET押出しライン2号機 導入
(PET二軸延伸シート押出)

MFP・MSD生産ライン 増強

透明PP生産ライン 増強

PET生産ライン 増強



八王子センター

地上5階建
延床面積 18,200坪
投資額 115億円



福山クロスドックセンター

地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円

☆ 開発

- ・『開発・研修棟』建設

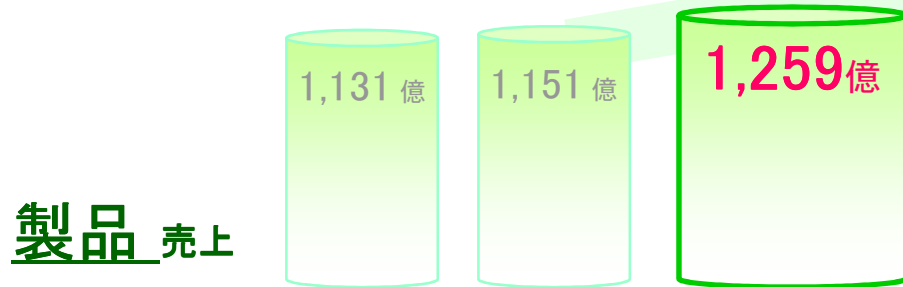


'14年3月期 設備投資計画 総額 **204億**

用地取得額 **41億**

中期目標

5千億円マーケットでのシェア拡大



- ☆ 世界初のシート・素材
 - ☆ 新マーケット創造
 - ☆ M & A
 - ☆ 持続的な新製品投入
- ◇ グローバルマーケット

経常利益率 12%



2兆円マーケットへの挑戦



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送

経常利益率 6%



売上高 1,557 億 1,582 億 1,705 億

経常利益 149.5 億 151.2 億 156 億

3,000 億

300 億

中期目標

	50期	51期	52期計画
設備投資	124 億	151 億	204 億
減価償却	97.3 億	97.5 億	99.6 億
償却前 経常利益	246.8 億	248.7 億	256 億

☆ 戦略投資

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 450円

企業規模拡大に向けて

代表取締役社長
佐藤 守正

マーケットの状況

オーバーストアによる競争激化

ナショナルチェーンの地方進出

CVSの旺盛な出店

他業種(ドラッグストア・ホームセンター)からの参入

プライベートブランドの拡大

人口減の一方で世帯数は増加

単独世帯の増加

高齢化世帯の増加

世帯構成人数は減少の一途

地方スーパーの優劣が更に進行

地方SMの淘汰

更なる合理化要請

インスタアからアウトパックへ

ロングライフ商品

地方問屋の経営悪化

物流合理化

Cランク品在庫削減

新技術

商品調達力

新製品開発

物流ネットワーク整備

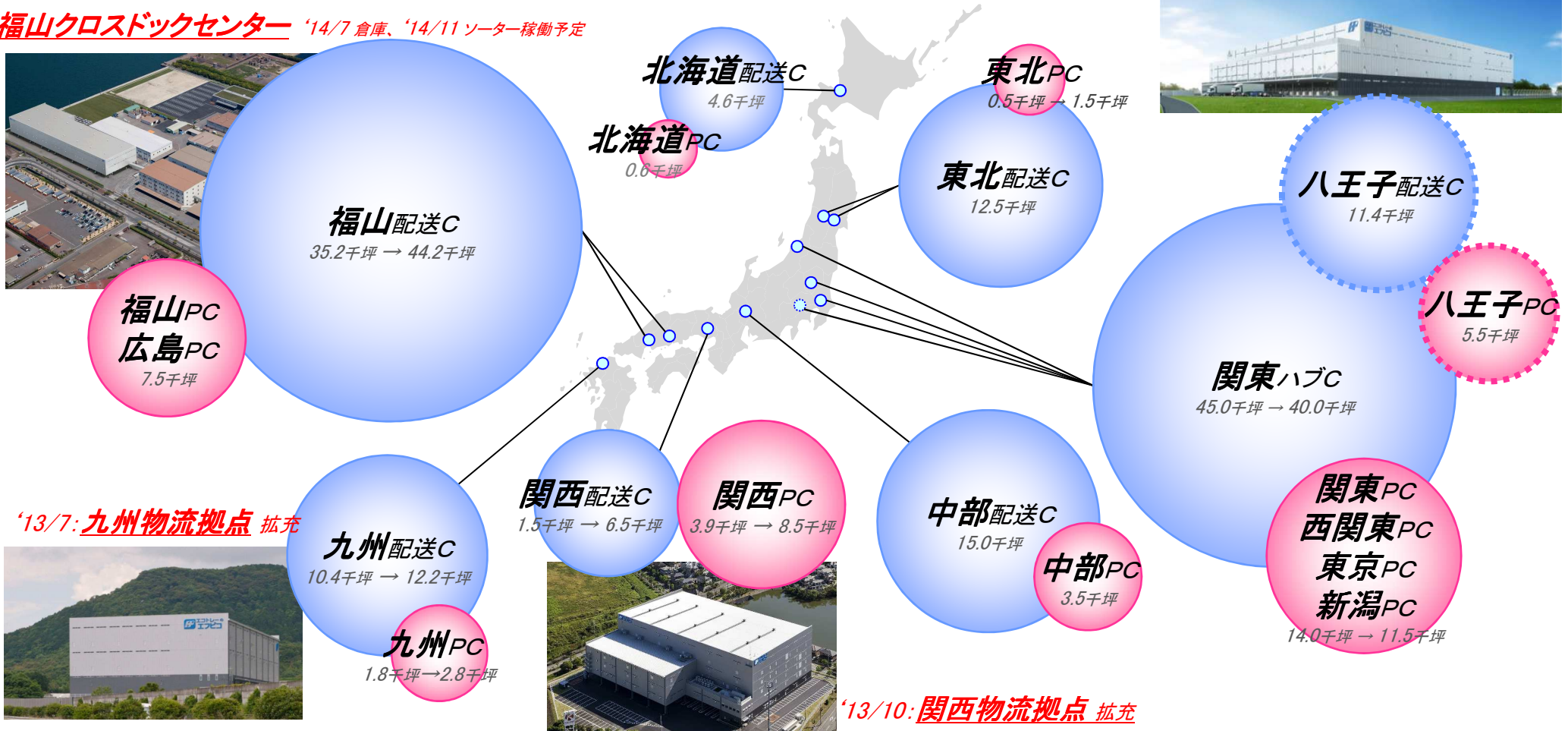
高品質で効率的な物流サービスにより 全国をフルカバー

2012年 2014年
配送C: 12万42百坪 → 14万64百坪 118%

ピッキングC: 3万18百坪 → 4万14百坪 130%

八王子センター '14/10 配送C、'15/2ピッキングC稼働予定

福山クロスドックセンター '14/7 倉庫、'14/11 ソーター稼働予定



'13/7: **九州物流拠点** 拡充



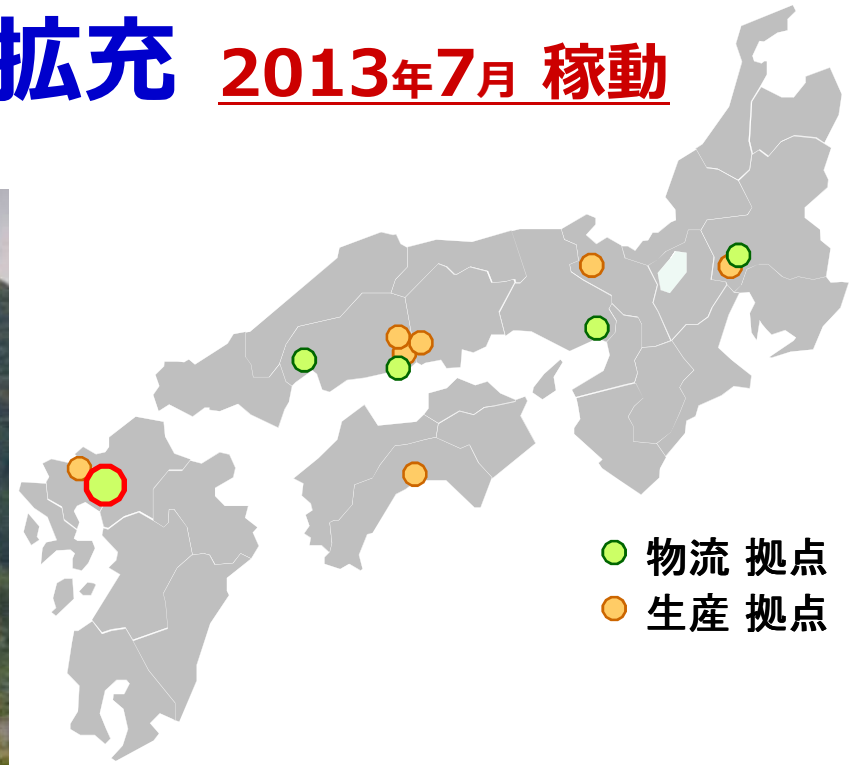
'13/10: **関西物流拠点** 拡充



物流ネットワーク整備 -1

九州配送C・ピッキングC 拡充 2013年7月稼動

地上3階建
延床面積 5,700坪
投資額 18億円



● 物流拠点
● 生産拠点



■ 旧九州物流拠点

DC	床面積	6,800坪
	保管能力	13万ケース
PC	床面積	1,800坪

■ 借庫

DC	保管能力	6万ケース
----	------	-------

■ 新九州物流拠点

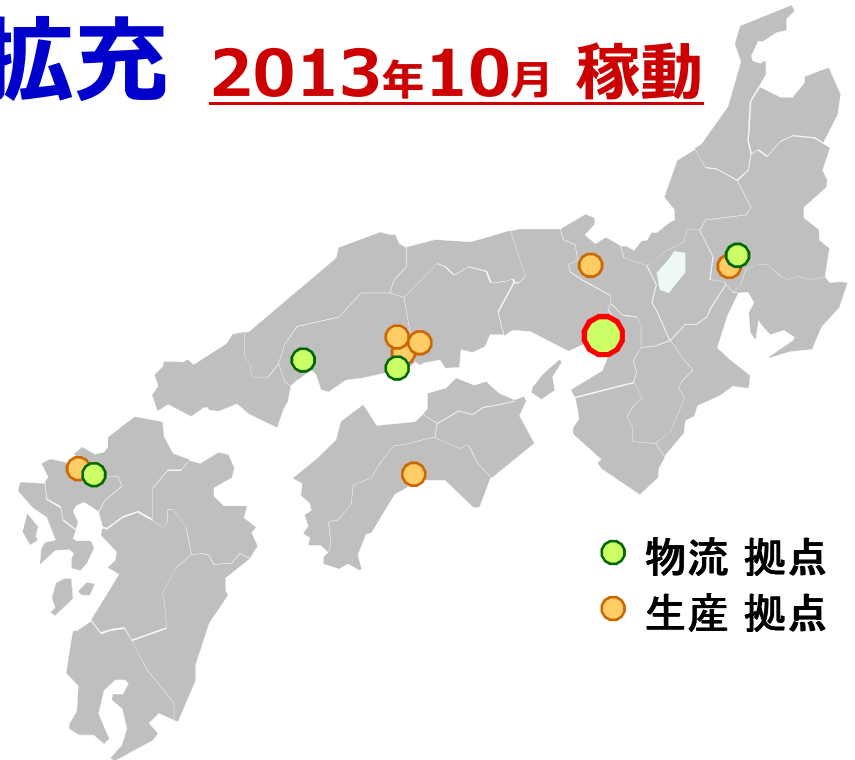
DC	床面積	12,200坪
	保管能力	22万ケース
PC	床面積	2,800坪

■ 借庫

DC	返却
----	----

物流ネットワーク整備 -2

関西配送C・ピッキングC 拡充 2013年10月 稼動



● 物流拠点
● 生産拠点

地上5階建
延床面積 11,800坪
投資額 46億円

■ 旧 関西物流拠点

DC	床面積	—
	保管能力	—
PC	床面積	3,900坪

■ 借庫

DC	保管能力	3万ケース
----	------	-------

■ 新 関西物流拠点

DC	床面積	6,500坪
	保管能力	12万ケース
PC	床面積	8,500坪

■ 借庫

DC		返却
----	--	----

物流ネットワーク整備 -3

福山クロスドックセンター 2014年7月 倉庫、11月 ソーター



物流ネットワーク整備 -4

八王子センター 2014年10月 配送C、2015年2月 ピッキングC

地上5階建
延床面積 18,200坪
投資額 115億円



八王子センター
計画地

圏央道

関東ハブセンター



- ・ 東西より関東全域をカバー
- ・ トータルコスト削減
- ・ リスク分散

■ 現 関東圏 物流拠点

DC	床面積	36,600坪
	保管能力	58万ケース
PC	床面積	14,000坪

■ 借庫

DC	保管能力	12.8万ケース
----	------	----------

■ 新 関東圏 物流拠点

DC	床面積	51,400坪
	保管能力	92万ケース
PC	床面積	17,000坪

■ 借庫

DC		返却
----	--	----



商品データベース
eBASE-Web

連携

基幹連携
I-Fair



- ☆ 商談中でも自由に検索、その場で提案
- ☆ 推奨(置換)商品の提案
- ☆ 即見積～商談成立
- ☆ 情報共有化による確実な意思疎通
- ☆ スピード感と確実性の向上

商品拡販 商品データベース

商品データベース
eBASE-Web

- ◎ アイテム毎に 300項目の詳細情報をデータベース化
- ◎ 2万5千アイテムを網羅

The screenshot displays the eBASE-Web interface. On the left, a category tree is visible with a red box around it and the text 'カテゴリ検索' (Category Search). The main area shows a product list with images and details. A red arrow points to a product image. On the right, a search options panel is shown with a red box around it and the text '文字・条件検索' (Text/Condition Search). A yellow box with the text 'iPad対応' (iPad Compatible) is overlaid on the interface. The interface includes a search bar at the top right, a category list on the left, and a product list in the center.

- ☆ 検索: 使用シーン、商品CD、品名、特徴等 キーワード
 - ☆ 特徴: 標準単価、商品スペック、在庫、画像...
- 300項目以上の詳細情報を格納

商品拡販 基幹連携

基幹連携
I-Fair

◎ 基幹システムとの連携

◎ 推奨品検索・サンプル・見積・在庫・履歴格納 がすべて“つながった”

検索条件、現状設定

置換試算結果

【在庫情報】

現状在庫・使用構成比
予測消化日数

切替滞留防止

現行品／推奨品・同等品表示
(ユーザー選択可)

センサ-CD	センサ-名	在庫数 (報一) 単位:本	予測 対センサ- 消化 本得意先 日数 占有率(%) (30日実績平均)	予測 対センサ- 消化 本得意先 日数 占有率(%) (90日実績平均)
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7
Z020D	中部ピックアップC	6	36.0 60.0	24.5 72.7

推奨

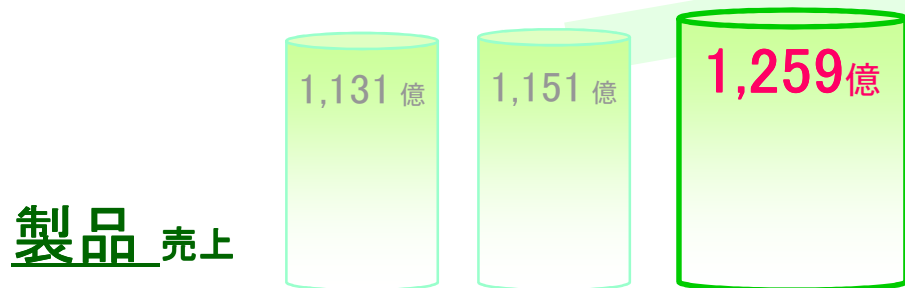
お薦め

提案品

常に最新情報で検索・試算

中期目標

5千億円マーケットでのシェア拡大



- ☆ 世界初のシート・素材
 - ☆ 新マーケット創造
 - ☆ M & A
 - ☆ 持続的な新製品投入
- ◇ グローバルマーケット

経常利益率 12%



2兆円マーケットへの挑戦



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送

経常利益率 6%



売上高 1,557 億 1,582 億 1,705 億

経常利益 149.5 億 151.2 億 156 億

3,000 億

300 億

中期目標

	50期	51期	52期計画
設備投資	124 億	151 億	204 億
減価償却	97.3 億	97.5 億	99.6 億
償却前 経常利益	246.8 億	248.7 億	256 億

☆ 戦略投資

目標とする中期経営指標

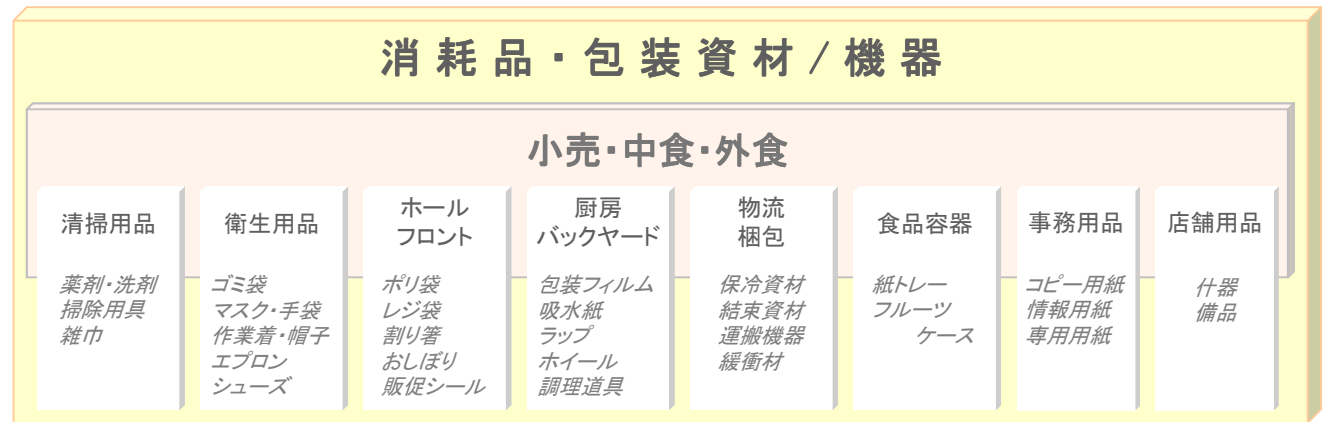
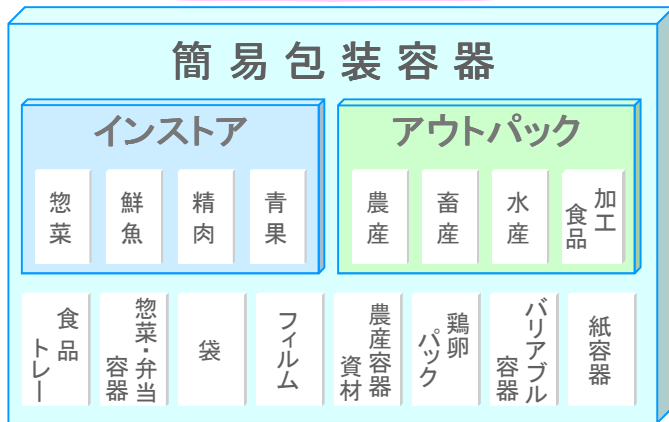
1株当たり純利益 450円

マーケットへの取り組み

＝ご参考＝

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野での
優位性 確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

エフピコ物流・アイロジック

エフピコ グループカ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 SCM 環境経営 社会責任 インフラ

エフピコ商事

包装資材・消耗品 メーカー

添付資料

【施設見学のご案内】

随時受付:経営企画室 児玉 03-5325-7756

中部施設

・最寄駅:JR東海 岐阜羽島駅

・見学時間:3時間

☆ 選別センター

・発泡PS容器 色選別

・透明容器 素材選別

☆ リサイクル工場

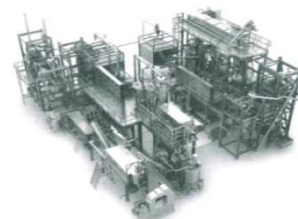
・PS容器リサイクル

・PET容器リサイクル、PETボトルリサイクル

☆ 配送センター・ピッキングセンター

☆ 生産工場

・PSP(発泡PS)製品生産



PETメカニカルリサイクルプラント

PETリサイクル

容器選別
PSリサイクル



中部ピッキングセンター
中部第2配送センター



関東施設

・最寄駅:JR東日本 古河駅

・見学時間:3時間

☆ 選別センター

・発泡PS容器 色選別

・透明容器 素材選別

☆ リサイクル工場

・PS容器リサイクル

☆ 配送センター・ピッキングセンター

☆ 関東八千代工場

・PSP(発泡PS)製品生産

・PET二軸延伸シート生産

・PET二軸延伸容器生産



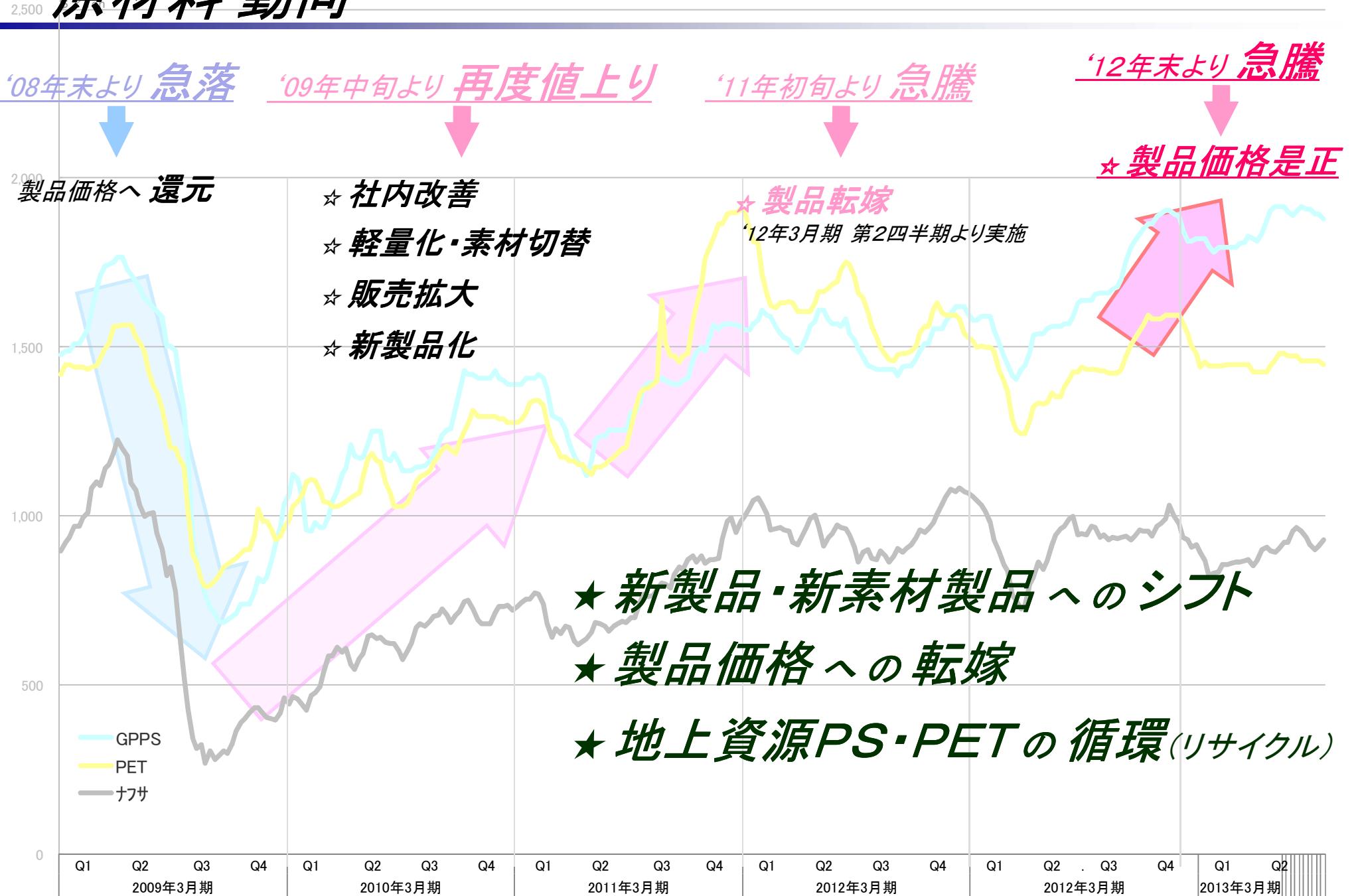
リサイクル工場

関東ピッキングセンター
関東ハブセンター

関東八千代工場

最新鋭の生産 ~ 物流 ~ リサイクルをご覧ください。

原材料 動向



世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



新透明PP

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



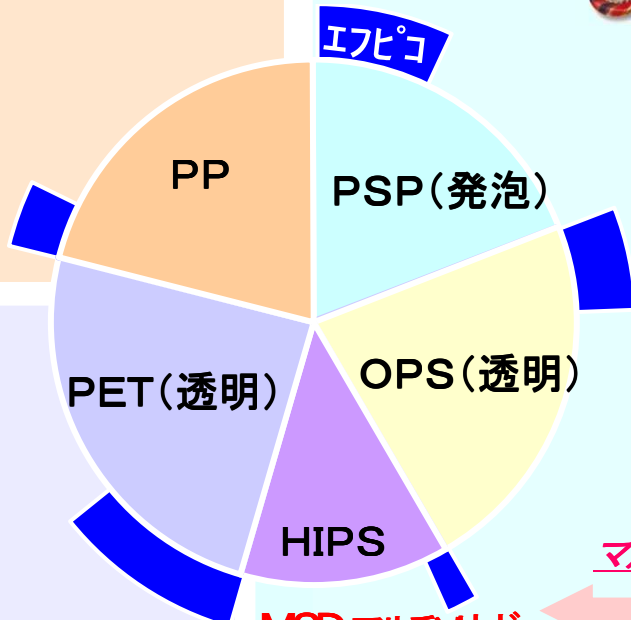
PSP:発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



MFP:マルチFP :発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 更なる軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発 樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

OPET:PET二軸延伸

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい



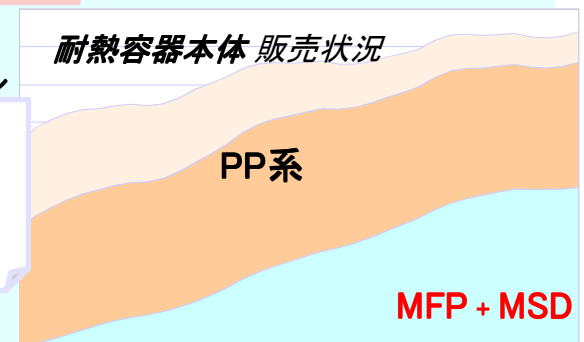
MSD:マルチノド :非発泡ポリスチレン

OPS:延伸ポリスチレン

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

マルチFP端材の循環

耐熱容器本体 販売状況



※ 中央円グラフ: 素材別 シェア (重量ベース)

経常利益 増減要因 推移

単位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期	46期	47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 '12/3			51期 '13/3			52期 見通し '14/3		
							上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期
前期 経常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0		-25.0												
							原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0												
							原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-12.5	-15.5	-18.0	-23.0	-41.0
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0		+25.0			+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5				
							第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0							製品価格是正			+8.0	+28.0	+36.0
							第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0							製品値上の遅れ Δ6					
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+21.0	+1.0	+5.0	+6.0
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0							新素材効果			+2.0	+6.0	+8.0
							汎用製品 価格競争												汎用製品 価格競争 Δ3					
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	+3.0	+4.0
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	+2.0	+3.0
グループ会社利益改善										+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+0.5	+1.0	-	+4.0	+4.0
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0		+4.0	-4.0		-4.0							新拠点立上追加経費 Δ1					
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-9.0	-6.0	-15.0
当期 経常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	61	95	156

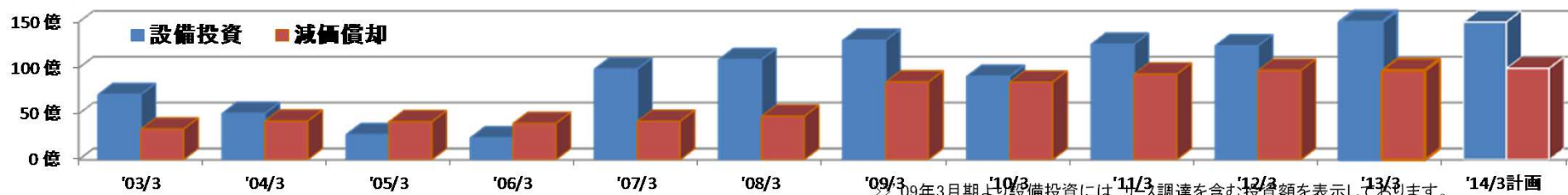
↑ 計画差異 Δ10

↓ 上期 経常利益 51億円

設備投資 研究開発費 推移

単位:百万円

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期 計画	
生産	山形工場				下館第二工場	中部第二工場	九州第二工場	太洋興業 日本パール容器 ウツ工場	日本パール容器 フードパック設備	ダイヤフーズ アルライト	北海道工場増設	関東八千代工場	透明容器の強化 >
物流	東日本ハブC 九州HC 関西HC				北海道HC	関東八千代C	新北海道HC		新福山PC	新中部PC	関東PC拡充	九州物流拠点 関西物流拠点 福山クロスツック 八王子C	物流ネットワーク整備 >
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場					新リサイクルネットワーク構築 > 中部 PETメカニカルリサイクル PETリサイクル事業 >
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物 関東新工場土地	中部地区土地・建物	ユカ商事		九州物流拠点土地 関西物流拠点土地	八王子拠点土地	
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,370	
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	20,015	
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	355	
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	1,810	
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,960	
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,090	



>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

選別センター 9拠点

発泡PS容器 色選別ライン 白とカラーに手選別



<選別センター9拠点能力(常勤)>

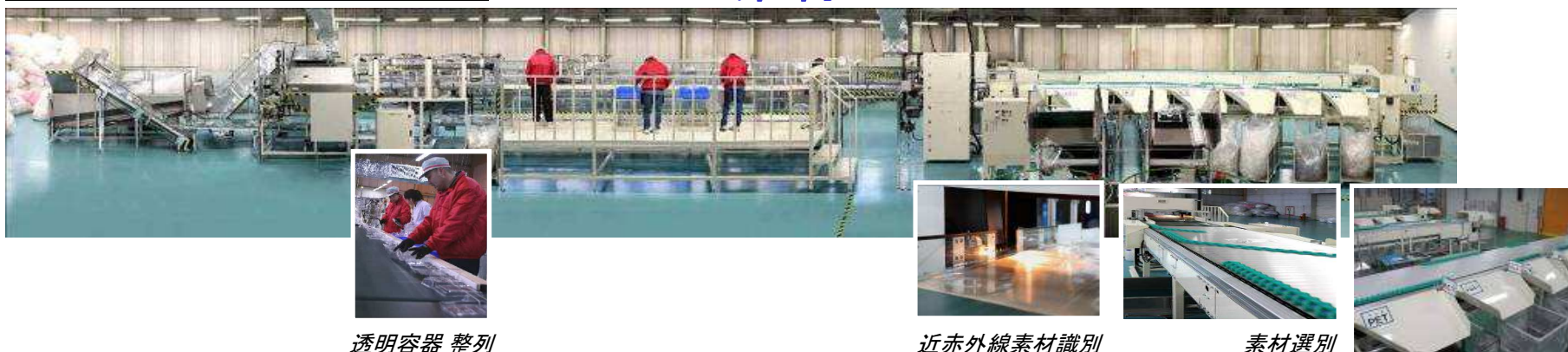
PSP:26ライン、10,600トン/年

透明容器:13ライン、1,600トン/年

障がい者の就労

- ・発泡PS容器 色選別作業
- ・透明容器 整列作業

透明容器 素材選別ライン 近赤外線で素材選別 透明容器素材:OPS、PET、PP、PVC、クリスター、他



透明容器 整列

近赤外線素材識別

素材選別



回収



選別



- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器
- ・PET透明容器



減容



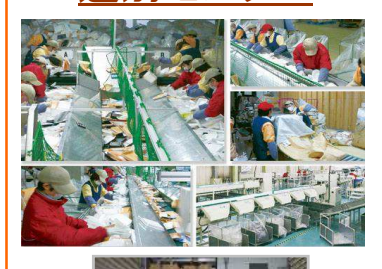
リサイクル工場へ

リサイクル工場 3拠点

<リサイクル工場3拠点能力>
 PS:5,000ト/年(常勤)
 PET:20,000ト/年

リサイクル工場

選別センター



減容/移送

・発泡PS容器
 たんぱく質除去
 ・OPS透明容器

・PET透明容器



171億円の販売
 ('13年3月期)



'12年5月
 「エコPET」上市



・PETボトル

PET透明容器でもリサイクル事業の確立へ

【 関東八千代工場 】

平成24年7月 竣工

3層 延14,500坪 建物 175m×105m×26m(高さ)

1階:生産施設 6,300坪

2階:ピッキング 3,500坪

3階:倉庫施設 4,500坪



↑ 既設棟とソーター接続



物流設備



生産設備

【 関東拠点 施設配置 】

